

5月5日(火・祝)～6月3日(水) 満月セレクト

— 今回のセレクトター ご紹介 —

Music Selector : 矢野 顕子



矢野 顕子

青山学院高等部在学中よりジャズクラブ等で演奏、1972年頃よりティン・パン・アレー系のセッションメンバーとして活動を始め、ニューミュージック黎明期の欠かせない顔となる。1976年にアルバム「JAPANESE GIRL」でデビュー以来、YMOとの共演、ピアノ弾き語りの「出前コンサート」といった活動をするとともに、レイ・ハラカミとのユニット「yanokami」、森山良子とのユニット「やもり」、上原ひろみとの共演など、さまざまなジャンルのアーティストとのコラボレーションを行う。2014年3月にはVICTOR SPEEDSTAR RECORDS 移籍第一弾アルバム「飛ばしていくよ」をリリース、さらなる新世代のミュージシャン達とコラボし、一所にとどまらない活躍を続けている。

今回のセレクトCD

1.



Jonatha Brooke / The Works (Bad Dog / 60808)

キャリアは長いのですが、日本でもアメリカでもあまり知られていません。でもすばらしい曲を書き、歌がうまくて、ギターもピアノもうまい。去年、自分のお母さんがアルツハイマーで亡くなったことを題材にしたお芝居(ミュージカル)も書きました。日本での上演を実現させたいわたくしです。

2.



Jalala / That Old Mercer Magic (Dare / DRR-200206)

昔からの友達、マンハッタン・トランスファアのジャニス・シーゲルが、自分の好きな女声ハーモニーをやるべく結成しました。ジョニー・マーサーの曲ばかりを歌っています。が、続編はむずかしいそうです。まったく三人のスケジュールが合わないの。惜しい。

3.



Toninho Horta / Moonstone (Verve Forecast / 839 734-2)

これまた昔からの友達です。ブラジルのシンガー・ソングライター及びギタリストのなかでも、際立って才能あふれるトニーニョですが、人柄もやさしくて、人を押しつけるでも有名になるというような欲を持たないためか、なかなかレコードは売れません。(笑) どうぞたくさんアルバムが出ていますので買ってくださいね。

4.



Rei Harakami / Lust (Sublime / IDCS-1014)

彼とわたしはYanokamiというバンドをやっていました。彼と演奏できた事は今となっては、最高の特権でもあったと言えるでしょう。亡くなったので新作は出ませんが、彼の作ったものはまったく時代の波をかぶらない、未来永劫ミュージックです。

5.



Steely Dan / Katy Lied (MCA / MCAD-37043)

20世紀最大のバンドのひとつです。彼らの紡ぎ上げた音は全く古くなりません。わたしには意味がよくわからない表現もみられる詞も、曲も、すべてがアレンジと一体化されています。このアルバムは個人的に一番好きなものです。